

【 ボランティア情報 … 尾島ぴっころ福祉作業所の作業応援 】

9月10日～12日の3日間、恒例となっている作業応援を実施しました。

9/10日は秋の研修旅行日で留守番職員とパンジーの定植作業(写真下)、ちなみにこのビニールハウスは三菱電機の寄付によるものです。

9/11、12日はボールペンの組立作業(写真上)。台風9号と研修旅行で2日間休みになり、作業が遅れていたもので、11、12日の応援は助かったそうです。

なお施設の概要を説明しますと

- 1、施設の目的。太田市に在住する障害者の自立指導、訓練を行い福祉の向上に寄与することを目的としています。現在の受け入れ人員、所生——12人、デイサービス——5人
- 2、「ぴっころ」の由来。ピッコロは小さな楽器で目立たないが、その音色は非常に美しい。地域の中で福祉作業所、個人がキラッと光る「ピッコロ」のような存在になりたい、そう願いをこめて——
- 3、ボランティアの受け入れ。所生の自立指導に、人とのふれあいを重視して、積極的に受け入れを行っています。1200人/年



馬電ふれあいフェスティバルのご案内

恒例の馬電フェスティバルが、11月10日(土) 10:00～14:00 馬電構内で実施されます。今回は、2年に一度の大イベントということで、土曜日に盛大に行われる予定です。

その中にまじって、今年の実会総会懇親会の場で披露した、菱の実会OBバンド(PGP:プラチナ・グランパパ)が特別出演します。午前と午後の2回演奏の予定です。応援をよろしくお願いいたします。

《雑記帳》

インド式計算に思う

先日、本屋に立ち寄ったら、インド式計算の本が、専用コーナーを設けてたくさん並べてあった。今、このインド式計算がブームらしい。その勢いに押されてインド式計算の本を買ってみた。

インド式計算とは …… 例えば、「 $398+158$ 」の計算。インド式は、これを「 $400+156$ 」のように、片方をキリのいい数字に置き換えて計算する。まさに小銭の整理術。

次に「 14×11 」の計算。「11」を「 $10+1$ 」と捉えるのがポイント。まず「 14×10 」を計算して「140」。

次に「 14×1 」で「14」。これを足して「 $140+14$ 」で「154」というやり方。これなら暗算でもできる。

それでは、「 48×25 」の計算。「25」を「 $100\div 4$ 」と考えるのがポイント。先に「 48×100 」を計算して「4800」。それを「4」で割って「1200」。掛ける数が「25」の時は、100を掛けて4で割る。

このように、「計算しやすい形にして変化させる」のがインド式。これなら、日本人だって人によってはとくにやっている方法かもしれない。それが今 なんでインド式として脚光を浴びているのか……。

もともとインドは、数学への取り組みが盛んな国らしい。掛け算も九九ではなく、 19×19 まで覚えるという。

小さい頃からみっちり数学を学び、柔軟性に富んだ思考と論理をたたきこむ。我々日本人は、ちょっと複雑な計算になると、すぐに「電卓」に手がいってしまう。すっかり数学が苦手になってしまった。

「読み・書き・そろばん」の時代は、数学先進国だったはず。インドなんかには負けてはいられない。

そんなインドに興味を持ってしまった。時々この雑記帳でインド事情について取り上げてみようかと思う。

(篠崎 記)